

日本では地震や豪雨といった自然災害が多く起きる

命を守るには避難が大切



避難後の生活を快適に過ごすには防災バッグ
に生活に必要なものを入れる必要がある



多くの荷物を詰め込む必要があるが、
お年寄りや子供といった人には持ち
運びが難しく、避難が遅れる原因に!!

防災バッグに入れるものの中で特に容積と重量になるのは**衣服**や**布**といった体温調節物資

⇒持ち運ばなくてもこの機能を確保できる工夫！



この2つを足し合わせることができたら・・・

持ち運ぶのに必要な防災バッグと体温を調節するための防寒具を1つに合体して兼用できるようにすれば問題解決

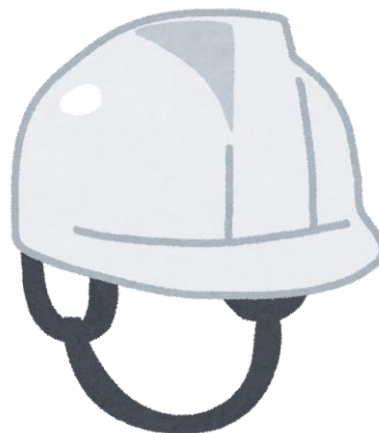
既往の技術

- ・ **防寒布（防寒シート）**

アルミ蒸着シートにより体温を保温すると同時に雨をはじき、直射日光も防ぐことができる

- ・ **多機能防災バッグ**

防災バッグとしての利用だけでなく、ラジオがついていたり、ヘルメットに変形して命を守るといった技術がある



防寒具兼用防災バッグの特徴

- ・ 防災バッグとして避難施設に持っていき、中の防災用品を使用して防災バッグを使用しなくなっても利用価値がある
- ・ 防寒具の状態に変形してもポケットやあらかじめ防災バッグにビニール袋といったかさばらない物を入れておけば防災用品の保管も気にならない

